

授業概要

本講義では、教育相談の基礎となるカウンセリングの理論および技法を理解することを目指す。また、乳幼児期、児童期、思春期の発達課題と、それぞれの発達段階で生じやすい心理的課題とその対応について講義する。また、アクティブ・ラーニングとしてグループ・ワークを用い、体験を通じた事例理解を目指す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	教育相談の基礎知識（1）教育相談と生徒指導、チーム学校の考え方
第 3 回	教育相談の基礎知識（2）カウンセリングの代表理論と基礎技法
第 4 回	子どもの発達と心理的課題（1）乳幼児期
第 5 回	子どもの発達と心理的課題（2）児童期・思春期
第 6 回	教育相談の実際：不登校の問題の理解と対応
第 7 回	教育相談の実際：いじめの問題と理解と対応
第 8 回	教育相談の実際：発達障害についての理解と対応
第 9 回	教育相談の実際：児童虐待についての理解と対応
第 10 回	教育相談の実際：非行についての理解と対応
第 11 回	教育相談の実際：自殺・希死念慮に関する理解と対応
第 12 回	教育相談の実際：精神疾患に関する理解と対応
第 13 回	保護者との関係づくり
第 14 回	教育相談におけるグループアプローチ、心理教育の活用
第 15 回	授業のまとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

- （1）幼稚園・小学校・中学校における教育相談の意義および理論、具体的手法を説明できる。
- （2）幼稚園・小学生・中学生の発達段階に応じた課題と、生じうる危機について説明できる。
- （3）教育相談を行う上で基礎となる知識や技法を理解し、説明できる。

履修上の注意

- （1）20分以上の遅刻は欠席扱い、遅刻3回で1回の欠席とする。
- （2）全ての授業でリアクションシートの提出を求め、翌週の授業開始時に講師がフィードバックする。
- （3）許可の無い限り、機器の如何にかかわらず授業内容の撮影・録音を禁ずる。
- （4）授業中は、講師からの説明だけでなく、受講者同士でのグループワークの場を設ける。

予習・復習

予習：配布資料や教材に目を通し、疑問点や知りたい点を考えておくこと。
復習：分かった点や興味を持った点、よくわからない点についてまとめておくこと。
（疑問点については授業内でフィードバックを行う）

評価方法

成績評価の基準：リアクションシート（40%）、定期試験（60%）で評価する。定期試験は、穴埋め式・論述式で行う予定である。詳細は授業内で指示する。

テキスト

教科書は特に指定しない。毎回の授業でパワーポイント資料を用いる。必要に応じて参考資料を授業内で指示する。